

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

様式1（小・中）

達成度（評価）

A：十分達成できている

B：おおむね達成できている

C：やや不十分である

D：不十分である

学校名

唐津市立 七山小中学校

1前年度
評価結果の概要

・LMを用いたことで、子どもたちが展望を持ち学習に取り組むことができた。今後も継続していきたい。また、小学校中学校で共通して、グループ学習を取り入れた授業を仕組むことで、自己の考えや思いを表現できると感じる児童生徒は増えた。今後はすべての児童生徒が自己表現できる力を育成していくような手立てを講じていきたい。

・生徒指導面においては、より一層、児童生徒との関わりを大切にしていける必要がある。成長段階を考慮しつつ、児童生徒の良さを認め、的確に称賛していく姿勢を持ち続けることで、自己肯定感を高めていきたい。

・より一層、小中学校の利点を活かすべく、小学生に中学生のリーダーシップに目を向けさせ、小学高学年の責任感の育成を図り、学校全体の活性化を目指したい。

・総合的な学習の時間をはじめ、各場面で地域教材や外部講師を取り入れた学習活動を仕組んだことで、郷土愛を育むことができた。今後は、教師が系統性を重視して学習のねらいを見定め、データストックを活用してより良い活動を仕組んでいきたい。

2学校教育目標

「感謝の心を持ち、自立に向かう子どもの育成」

～ お互いを「思いやり」、一人一人が「輝き」、小中一貫教育を通して自ら学び・考える力を伸長し、自己実現を目指す ～

3本年度の重点目標

① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

② 互いの良さを見だし、認め合う教師の目と子供の目の育成（出番・役割・承認）

③ 児童生徒の自主的・自立的活動の活性化

④ 特別支援教育の充実

4重点取組内容・成果指標

中間評価

5最終評価

(1)共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	○単元のゴールを明確にした単元計画による授業づくりができたと答える教師90%以上 ○児童生徒が自分の考えを表現する場を設定していると答える教師90%以上	・交流活動を仕組んだ授業構成の工夫。 ・単元計画及び単元目標の明確化。 ・一人一授業の公開を計画的に実施。		・		・
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権について真剣に考えることができる児童生徒90%以上 ○他者の多様な考え方を聞き、認めることができる児童生徒90%以上	・人権教室の実施。 ・発達段階や学級の特性に適した人権感覚を磨く。 ・気づき、考え、議論し、認める気持ちを高めよう道徳授業の実践。		・		・
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの早期発見、早期対応100%	・月に1回程度アンケートを実施し、児童生徒理解に努める。 ・チームで早期対応を行い、連携を図る。		・		・
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒90%以上	・児童生徒の自己肯定感を高める。 ・互いを認め合い、協力し合う集団作りに努める。 ・キャリアパスポートの活用 ・感謝の気持ちを伝えたり、将来へ向かう志をもたせたりする。 ・「ほめるからはじめる」ことを意識した声かけ。		・		・
	○異年齢集団の活動の充実	○小学校から中学校まで一緒に生活する学校でよかったと思う児童生徒、保護者、学校職員、地域関係者 各90%以上	・児童生徒会本部と専門委員会と連携して自治活動を行い、校内の行事を充実させる。 ・歓迎遠足、体育大会、ボランティア活動等を通して、異年齢集団での活動を充実させる。		・		・
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒90%以上	・休み時間の運動場、体育館利用の割り当てをし、施設を有効活用させる。 ・各学年や体育館に専門ボールを設置し、運動しやすい環境を整える。 ・食事に対する意識と摂取栄養素に対する知識を高めさせ、好き嫌いをなく、マナーを守った食事ができるようにする。 ・発達段階に応じて、生涯健康な生活を送ることができるよう基本的な生活習慣を身に付けさせる。		・		・
	②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	②「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上			・		・
	③「健康を考えて行動できる能力の育成」	③「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童生徒80%以上	・治療勧告書の回収方法を工夫する。 ・連絡アプリの活用		・		・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・管理職を含め、定時退勤日を意識した業務遂行を目指す。 ・特に長期休業中において、不必要に研修等を設定しないことを周知徹底するとともに、短時間でも年休の取得を促す。		・		・
	○学校行事及び学習活動の精選	○独自調査で、各行事及び学習活動について、ねらいを十分理解したうえで取り組む事を心掛けたと答える教職員90%以上	・教育課程に照らし合わせ、ねらいに合致した内容であることを確認して取り組むことを目指す。		・		・
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する職員の理解を深め、特別支援教育の視点を取り入れた指導・支援	○特別支援教育に関する理解が深まったと回答した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・子ども支援会議を中心とした、全職員での児童生徒の情報共有と一貫した関わり		・		・

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果
○良さを見だし、認め合う教師の目の育成	○「ほめるから はじめる」ことを主眼に おいた指導の充実	○独自アンケートによる調査で「毎日2回以上、子どもや教師を褒めることができた」と答える教師100%	・「できて当たり前」「してもらって当たり前」の意識を脱却する。(させる) ・見つけた良さを共有できる場の設定をする。		・		・
○危機管理(安全教育の推進)	○交通事故における危険予測・危険回避能力の育成	○独自アンケートによる調査で「通学及び日常生活において交通ルール(特に自転車等)を遵守する意識が高まった」と答える児童生徒90%以上	・交通安全教室を実施し、交通事故の危険性並びに交通ルールの遵守及び昨年度改定した交通ルール(自転車等)について周知する。 ・自転車点検を実施し、保護者と連携して安全教育を促す。		・		・

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5総合評価・
次年度への展望

・

・